



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 株式会社 カネミツ 上場取引所 東
 コード番号 7208 URL <https://kanemitsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金光 俊明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 業務本部長 (氏名) 金光 秀治 TEL 078-911-6645
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,198	10.8	186	△9.8	242	8.1	277	74.0
2022年3月期第3四半期	6,496	34.9	207	—	224	—	159	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 638百万円 (324.1%) 2022年3月期第3四半期 150百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	54.23	—
2022年3月期第3四半期	31.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	14,940	9,759	64.2
2022年3月期	14,371	9,267	63.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 9,585百万円 2022年3月期 9,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
2023年3月期	—	14.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	16.4	430	114.1	460	92.4	290	77.1	56.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	5,129,577株	2022年3月期	5,129,577株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	16,355株	2022年3月期	16,355株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	5,113,222株	2022年3月期3Q	5,113,287株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、第8次中期経営計画（2020年4月～2023年3月期）において、次期商品（トランスミッション部品、xEV部品等）の拡販および収益確保を経営の最重要課題としております。

一方、当第3四半期連結累計期間の日本経済は、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立が進む一方で、半導体不足によるサプライチェーンの停滞、資源価格及び物流費の高騰、ロシア・ウクライナ問題の長期化、および急速な円安の進行によるコストの変動等先行きに対する不透明感が増しております。

このような経済状況のもと、当社グループでは、主力商品のプーリおよび次期商品での収益性向上活動を推進するとともに「新しい世界に挑戦していきます」をスローガンに2022年10月に設立しました株式会社キーネクスト（モーターコア新会社）の稼働準備、カーボンニュートラルへの取り組み等を積極的に推進しております。

その結果、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の売上高は7,198百万円（対前年同四半期702百万円増加 [10.8%]）となりました。利益面では、営業利益186百万円（対前年同四半期20百万円減少 [△9.8%]）、経常利益242百万円（対前年同四半期18百万円増加 [8.1%]）、親会社株主に帰属する四半期純利益277百万円（対前年同四半期117百万円増加 [74.0%]）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

日本は売上高5,115百万円（対前年同四半期533百万円増加 [11.6%]）、営業利益91百万円（対前年同四半期は営業損失29百万円）となりました。東南アジアは売上高1,629百万円（対前年同四半期149百万円増加 [10.1%]）、営業利益24百万円（対前年同四半期146百万円減少 [△85.9%]）となり、中国は売上高715百万円（対前年同四半期90百万円増加 [14.5%]）、営業利益54百万円（対前年同四半期4百万円減少 [△7.1%]）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は14,940百万円となり、前連結会計年度末に比べ568百万円の増加となりました。流動資産は653百万円増加しましたが、主として現金及び預金の増加281百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加201百万円、電子記録債権の増加138百万円等によるものであります。固定資産は85百万円減少しましたが、主として機械装置及び運搬具の減少189百万円、工具、器具及び備品の増加29百万円、建設仮勘定の増加147百万円、投資有価証券の減少80百万円、関係会社株式の増加30百万円等によるものであります。

負債は5,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円の増加となりました。流動負債は308百万円増加しましたが、主として支払手形及び買掛金の増加74百万円、電子記録債務の増加209百万円、その他の増加14百万円等によるものであります。固定負債は232百万円減少しましたが、主として長期借入金の減少175百万円、リース債務の減少82百万円等によるものであります。

純資産は9,759百万円となり、前連結会計年度末に比べ492百万円の増加となりましたが、主として利益剰余金の増加136百万円、その他有価証券評価差額金の減少59百万円、為替換算調整勘定の増加405百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました2022年3月期通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,291,265	3,572,894
受取手形、売掛金及び契約資産	1,632,134	1,833,943
電子記録債権	753,119	891,964
商品及び製品	185,114	227,513
仕掛品	511,518	585,579
原材料及び貯蔵品	99,062	125,838
その他	170,811	59,107
流動資産合計	6,643,026	7,296,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,319,014	4,469,724
減価償却累計額	△2,435,878	△2,608,879
建物及び構築物(純額)	1,883,136	1,860,844
機械装置及び運搬具	9,881,129	10,063,997
減価償却累計額	△7,680,894	△8,052,819
機械装置及び運搬具(純額)	2,200,234	2,011,177
工具、器具及び備品	1,132,615	1,254,332
減価償却累計額	△933,588	△1,025,530
工具、器具及び備品(純額)	199,027	228,802
土地	2,238,910	2,250,167
建設仮勘定	69,368	216,986
有形固定資産合計	6,590,677	6,567,977
無形固定資産		
のれん	6,403	3,658
その他	123,307	123,246
無形固定資産合計	129,710	126,905
投資その他の資産		
投資有価証券	854,047	773,191
関係会社株式	—	30,000
その他	154,175	145,438
投資その他の資産合計	1,008,223	948,629
固定資産合計	7,728,611	7,643,511
資産合計	14,371,637	14,940,353

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	655,431	729,912
電子記録債務	409,000	618,000
短期借入金	504,566	517,562
1年内返済予定の長期借入金	513,360	509,516
リース債務	115,056	118,210
未払法人税等	84,638	65,169
賞与引当金	143,533	165,425
役員賞与引当金	14,122	10,591
その他	572,583	586,887
流動負債合計	3,012,292	3,321,274
固定負債		
長期借入金	1,089,062	913,547
リース債務	210,327	127,601
長期未払金	79,380	79,380
繰延税金負債	390,365	372,968
退職給付に係る負債	272,225	315,022
その他	50,662	50,639
固定負債合計	2,092,024	1,859,159
負債合計	5,104,316	5,180,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	556,073	556,073
資本剰余金	506,523	506,523
利益剰余金	7,488,999	7,625,724
自己株式	△15,912	△15,912
株主資本合計	8,535,685	8,672,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	256,511	196,746
為替換算調整勘定	311,235	716,424
その他の包括利益累計額合計	567,746	913,171
非支配株主持分	163,888	174,338
純資産合計	9,267,320	9,759,919
負債純資産合計	14,371,637	14,940,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,496,662	7,198,871
売上原価	5,036,258	5,779,122
売上総利益	1,460,403	1,419,749
販売費及び一般管理費	1,253,229	1,232,780
営業利益	207,174	186,968
営業外収益		
受取利息	1,897	2,336
受取配当金	15,545	19,139
持分法による投資利益	14,366	—
為替差益	3,486	16,043
スクラップ売却益	17,256	18,644
その他	13,123	19,015
営業外収益合計	65,676	75,180
営業外費用		
支払利息	20,483	17,063
埋蔵文化財発掘調査費	24,243	—
その他	3,640	2,335
営業外費用合計	48,367	19,399
経常利益	224,483	242,750
特別利益		
固定資産売却益	4,421	7,559
補助金収入	24,777	90,882
保険解約返戻金	4,091	47,404
特別利益合計	33,290	145,846
特別損失		
固定資産売却損	1,492	341
固定資産除却損	364	9,176
特別損失合計	1,856	9,517
税金等調整前四半期純利益	255,917	379,078
法人税、住民税及び事業税	96,014	91,445
法人税等調整額	2,024	16,371
法人税等合計	98,038	107,817
四半期純利益	157,879	271,261
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,546	△6,077
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,426	277,338

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	157,879	271,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,641	△59,764
為替換算調整勘定	4,675	426,710
持分法適用会社に対する持分相当額	5,567	—
その他の包括利益合計	△7,398	366,946
四半期包括利益	150,480	638,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,788	622,763
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,308	15,444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(持分法適用の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立された株式会社キーネクストを持分法適用の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
プーリ	1,848,883	1,177,783	512,921	3,539,588	—	3,539,588
トランスミッション	1,274,003	—	—	1,274,003	—	1,274,003
その他	1,433,427	195,684	53,959	1,683,070	—	1,683,070
顧客との契約から生じる収益	4,556,314	1,373,467	566,880	6,496,662	—	6,496,662
外部顧客への売上高	4,556,314	1,373,467	566,880	6,496,662	—	6,496,662
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,912	106,332	58,264	190,510	△190,510	—
計	4,582,226	1,479,800	625,145	6,687,172	△190,510	6,496,662
セグメント利益又は損失(△)	△29,676	170,465	58,225	199,014	8,159	207,174

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額8,159千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△28,193千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等36,353千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
プーリ	1,849,841	1,304,187	547,771	3,701,799	—	3,701,799
トランスミッション	1,406,883	—	—	1,406,883	—	1,406,883
その他	1,790,238	216,766	83,185	2,090,189	—	2,090,189
顧客との契約から生じる収益	5,046,962	1,520,953	630,956	7,198,871	—	7,198,871
外部顧客への売上高	5,046,962	1,520,953	630,956	7,198,871	—	7,198,871
セグメント間の内部売上高又は振替高	68,305	108,347	84,952	261,606	△261,606	—
計	5,115,268	1,629,301	715,908	7,460,478	△261,606	7,198,871
セグメント利益	91,578	24,057	54,092	169,728	17,239	186,968

(注) 1. セグメント利益の調整額17,239千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△28,820千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等46,059千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。